



工事説明会で出た質問とその回答について、回覧板の中で毎回少しずつ掲載していきます。  
 全ての質疑応答はホームページに掲載してありますので、そちらを御確認ください。  
 また、ホームページを見られない方のために質疑応答集(印刷した物)を区民センター等(説明会会場)や市役所及び町役場(空港担当部局)にも配架していますので、そちらを御覧ください。  
 なお、質問・回答はホームページ掲載に当たり内容を再整理しましたので、御了承ください。

## Q 東海地震や南海トラフ地震で空港の盛土は大丈夫か。

**A** 空港建設時には東海地震による空港盛土の安全性を確認しています。また、今回のRESA整備では想定される南海トラフ地震等の大規模地震による盛土の安全性を検証し、空港機能を損なわないRESA盛土を設計します。

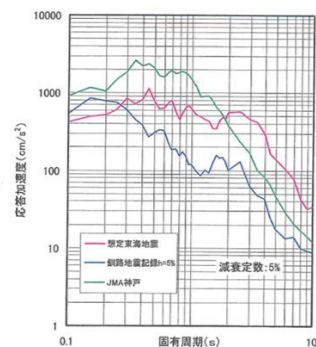
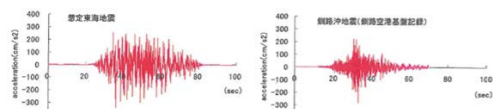
富士山静岡空港の建設時における盛土の設計では、耐震設計として、東海地震など、いわゆるレベル2地震動に対しても解析シミュレーションを行い、耐震性を確認しています。シミュレーション結果としては、盛土斜面の上端で1~2m程度の変形が発生しますが、盛土体としては安全な状態を保ち、滑走路も使用できるものとしています。

今回のRESA盛土においては、地下排水工を網目状に設置することにより盛土体の軟弱化・液状化の原因となる地下水を排除する設計となっています。

- ※ レベル1地震…富士山静岡空港の設計供用期間中に発生する可能性の高い地震
- ※ レベル2地震…富士山静岡空港で発生すると想定される最大規模の地震 (東海地震クラス)

### 【図解】空港建設時の耐震検討

- ・想定東海地震(M7.9、342gal)でシミュレーション計算したところ、盛土上部で1~2m程度の変形が発生します(横方向1.5m、下方向0.8m)。
- ・盛土上部で最大の変形となりますが、盛土は崩れません。



- ・南海トラフ地震(M9.0)の簡易検討(地震波形比較)では想定東海地震の結果と比べて大きな違いがないことを確認しています。

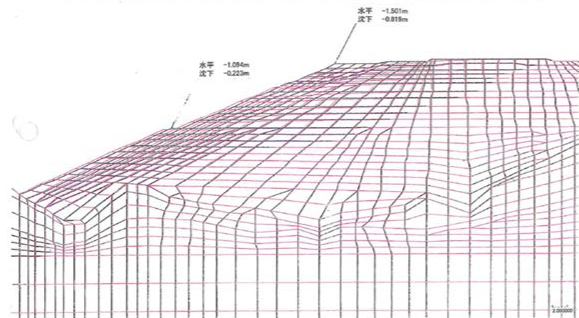
(4)解析結果  
 解析結果を表-4.3、4.4および図-4.4、4.5に示す。

表-4.3 解析結果(法面残留変位)

検討case	高盛土法面	長大法面	入力加速度振幅	備考
法面位置	0.82m (V)	0.45m (V)	342gal	残留変位
誘導線中心位置	1.50m (H)	0.91m (H)	#	残留変位
誘導線中心位置	0.13m (H)	0.17m (H)	#	残留変位
誘導線中心位置	0.02m (H)	0.02m (H)	#	残留変位

表-4.4 解析結果(法面の最大応答値)

検討case	高盛土法面	長大法面	入力加速度振幅	備考
最大加速度(水平成分)	762gal	736gal	342gal	最大値
最大変位(水平成分)	2.55m	1.99m	#	最大値



a) 高盛土法面残留変形

[RESAは、滑走路端安全区域(Runway End Safety Area)の略称です。]



[令和4年4月20日現在の伐採の状況]

### Topic

## RESA本体部の伐採に着手しました

RESA本体工事に先立ち3月下旬からRESA本体部の伐採工事に着手しました。今回伐採する木は空港建設時に郷土種の苗を植樹した木で、樹齢約15年の木です。施工上やむなく伐採しますが、RESA工事完成後は、環境保全アドバイザーの意見を伺いながら再び郷土種の苗を植樹し、森を復元します。

## 伐採木はチップ化し、再利用します 工事完成後は再び森を復元します

伐採した木は、できる限り場内で木チップや堆肥に加工して、盛土法面の樹木や空港内の芝生の客土として再利用します。

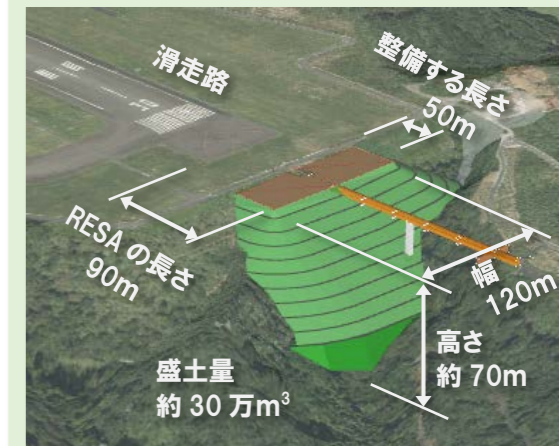


[空港建設時の木チップ製造(左写真)と植樹(右写真)の様子]

### ※ 滑走路端安全区域 (RESA) とは

航空機が離着陸するときに滑走路を超えて走行し停止してしまう「オーバーラン」等を起こした際に航空機の損傷を軽減させるため滑走路の両端に設けられる区域のことです。

富士山静岡空港では空港東側のRESAが新たな国際基準に適合していないため、拡張工事を行っています。



RESA完成イメージ図

## 工事進捗状況報告

空港東側のRESA工事現場では、工事用進入路の上段部が完成しました(施工業者(株)グロージオ)。引き続き、道路面のコンクリート舗装工事(施工業者(株)エコワーク)を行い、さらに工事用進入路の下段部の工事に着手していきます。



[工事用進入路(上段部)の進捗状況写真]

## 6月～9月の資材等運搬ルート

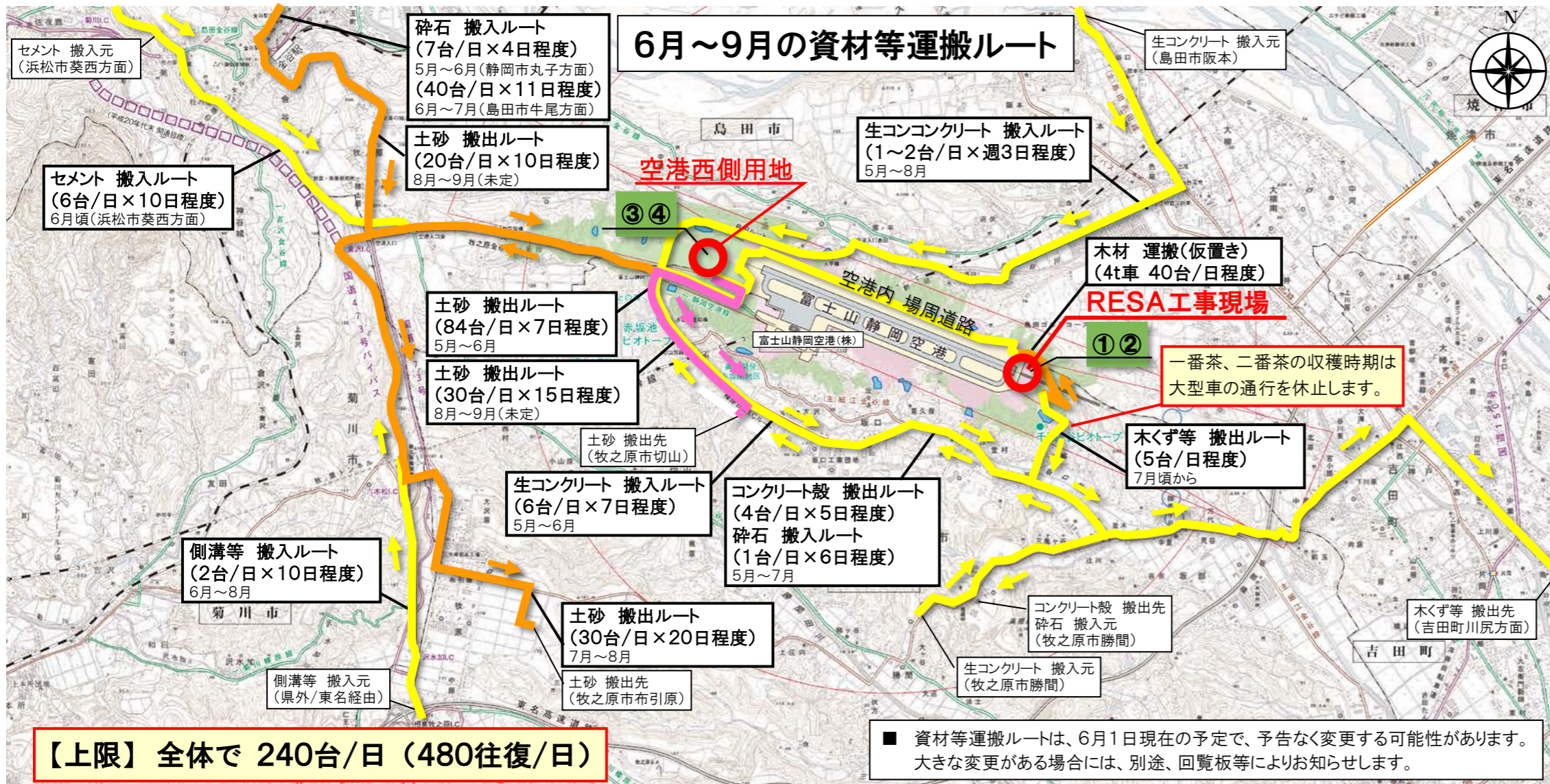
6月から9月の資材等運搬ルートを掲載します。

騒音、振動、粉じん、迷惑運転等には細心の注意を払い道路を利用させていただきますが、お気付きの点がありましたら静岡県空港調整室まで御一報くださいますようお願いいたします。

御迷惑おかけしますが、御理解と御協力をお願いします。

## 施工業者からのお知らせ

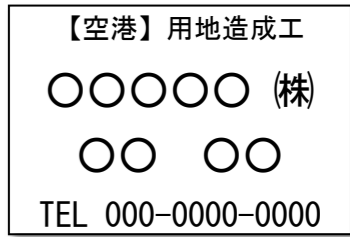
①	<b>工事用進入路舗装工</b> (RESA工事現場内)	<b>施工業者 (株)エコワーク</b> 現場代理人 杉岡 工事期間 令和4年2月8日から 令和4年7月25日
	工事用進入路のコンクリート舗装工事を行っています。夜間工事があります(6月中旬、2日間)。静岡市丸子方面から碎石の搬入、牧之原市勝間方面から生コンクリートの搬入があります。	
②	<b>RESA用地立木伐採工</b> (RESA工事現場内)	<b>施工業者 ひかり造園(株)</b> 現場代理人 望月 工事期間 令和4年2月15日から 令和4年7月25日
	RESA本体部の伐採工事を行っています。稜線道路沿いの県用地に伐採した木を運搬・集積しています。木くず等の一部を吉田町川尻方面へ搬出します。	
③	<b>非常時用進入路工</b> (空港西側用地内)	<b>施工業者 たむら建設(株)</b> 現場代理人 田村 工事期間 令和3年11月18日から 令和4年9月30日
	原子力防災センターの西側で土砂搬入用の道路新設工事を行っています。土砂やコンクリート殻等の搬出、碎石、生コンクリート、二次製品(側溝等)の搬入があります。	
④	<b>西側ヤード整備工</b> (空港西側用地内)	<b>施工業者 大石建設(株)</b> 現場代理人 原田 工事期間 令和4年2月15日から令和4年7月29日
	空港西側用地に土砂置き場の平場を整備します。牧之原市切山に土砂の搬出、国道473号方面から碎石やセメントの搬入があります。	



空港の資材等運搬車両(ダンプ等大型車両)は車両の前後に下の赤白チェックのワッペンと工事業者の表示板を掲示しています。



ワッペン(A3版)



表示板(A3版)

### 通行台数(ダンプ等大型車両) 凡例

台数	通行経路	未確定 6/1時点
150台/日以上 (300往復/日以上)	■	■
～150台/日 (～300往復/日)	■	■
～100台/日 (～200往復/日)	■	■
～50台/日 (～100往復/日)	■	■
1～20台/日 (2～40往復/日)	■	■

※台数は、片道の日当たり延べ台数(例 5台×5回/日=25台/日)  
※往復は、台数×2(積み荷+空積)(例 25台/日→50往復/日)